

2000 神戸学院大学 Green Festival

第154回

5月21日(日)15:00開演

●神戸学院大学吹奏楽部 第14回サマーコンサート

指揮/水口信太郎・泉慶治

第155回

5月22日(月)16:30開演

●沖縄の音楽と舞踊

出演者/関西琉球舞踊研究所 大西智子 他

琉球古典音楽安富祖流絃声会 大湾清之 他

第156回

5月27日(土)15:00開演

●長谷川陽子 チェロ協奏曲の午後

(賛助出演・猶井正幸)

指揮/ゲルハルト・ボッセ 神戸市室内合奏団

第157回

6月10日(土)15:00開演

●尾高忠明・尾高遵子

トークとピアノの午後

第158回

7月1日(土)15:00開演

●仲道郁代 ピアノ・リサイタル

ベートーヴェン ピアノ・ソナタ全曲連続演奏 第6回

第159回

7月15日(土)15:00開演

●伊原直子 アルト・リサイタル

ピアノ/森島英子

●入場無料



会場/神戸学院大学メモリアルホール(9号館)

主催/神戸学院大学

後援/兵庫県・(財)神戸市民文化振興財団

インターネットホームページ <http://www.kobegakuin.ac.jp/>

- お申込方法 ○官製往復ハガキを使用してください。申込者多数の場合は抽選になります。
 - ・往信裏面に①公演日 ②公演名 ③住所 ④氏名 ⑤電話番号をご記入ください。
 - ・返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
 - ・返信裏面は空白のままにお願いします。
 - ・1枚につき1公演、1名様のみのお申し込みになります。
 - ・受付期間は各公演の1カ月前~2週間前(必着)です。
 - ・学齢期に達していないお子さまの申込および入場はできません。
- お申込み・お問い合わせ先
〒651-2180 (郵便番号のみで到着します)
神戸学院大学グリーンフェスティバル係 電話078-974-1551(代表)
- 交通経路と所要時間
 - ①JR「明石」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約20分)
 - ②神戸市営地下鉄「伊川谷」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約15分)
 - ③JR「朝霧」駅より「神陵台行」バスに乗車、終点下車後徒歩約12分※お車でのご来場は固くお断りいたします。

神戸学院大学吹奏楽部 第14回サマーコンサート

- 曲目 ●ビゼー……「カルメン」
- ヤン・バンデルロースト……「ブスタ」他

吹奏楽部は6年連続の出演です。今回のプログラムは第1部がシンフォニックステージとしまして、上記の2曲を。第2部企画ステージではお客様もお楽しみいただける内容となっております。詳細につきましては神戸学院大学吹奏楽部(内線2606)までご連絡ください。

沖縄の音楽と舞踊

- 出演者 ●踊り・大西智子(関西琉球舞踊研究所)他
- 演奏・大湾清之(安富祖流絃声会)他

沖縄には、琉球王朝以来、豊かな芸能文化が育まれてきました。そしていまも、生活に根づいた形で芸能が演じられ、楽しまれています。

なかでも沖縄舞踊(琉舞)は古典舞踊、雑踊り等、多彩な性格をもっていますが、今回はとくに、琉球王朝の宮廷舞踊として伝承されてきた古典的な舞踊と民衆のエネルギーを感じさせる雑踊り、それに琉球音楽を加えてプログラムを組みました。抑制された動きの中に深い情感を込めて踊る古典舞踊はきわめて洗練されていて、どこか能の魅力と通じるものがあります。そのうえ南国の陽光を思わせる華やかな紅型(びんがた)の衣装。快活どころか哀愁を感じさせる三線の音色。

関西の沖縄舞踊の代表的な舞い手である大西智子さん、そして三線の演奏は沖縄から大湾清之さんをお招きしました。どうぞ沖縄の舞踊と音楽の真髄をたっぷりとお楽しみください。

長谷川陽子 チェロ協奏曲の午後

- 曲目 ●モーツァルト……アダージョとフーガ ハ短調 K.546
- モーツァルト……ディヴェルティメント 二長調 K.136
- カバレフスキー……チェロ協奏曲 第1番 ト短調 作品49(独奏 長谷川陽子)
- モーツァルト……ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K.447(独奏 猶井正幸)
- モーツァルト(カサド編)……チェロ協奏曲 二長調 K.447(独奏 長谷川陽子)

ご承知のように、モーツァルトはチェロのための協奏曲を書きませんでしたが、往年のスペインの名手ガスパール・カサドがホルン協奏曲から編曲した作品があることがわかり、陽子さんもこれに興味を示されたので、過去2回出演していただいた猶井さんを再度わざわざわたしの原曲との聴き比べをする企画は皆様の興味をかき立てるものと自負しております。協演の神戸市室内合奏団は初登場ですが、よき指導者を得て近年その活躍が批評家諸氏からも高く評価されています。かつてゲヴァントハウス管弦楽団の名コンサートマスターであったボッセ氏の近年の指揮活動の素晴らしさは氏と協演した多くの独奏者が口を揃えており、皆様に充分ご満足いただけるコンサートになることを確信しております。

尾高忠明・尾高遵子 トークとピアノの午後

- 曲目 ●シューマン……ロマンス 嬰へ長調 作品28-2
- シューマン……ノヴェレツェ ホ長調 作品21-7
- 尾高尚忠……ピアノのためのソナチネ
- 尾高尚忠……子供のための小曲集
- ドビュッシー……月の光(「ベルガマスク組曲」より)
- ドビュッシー……花火(「前奏曲集 第2巻」より)
- ・その他に夫妻による連弾あり。

演奏に劣らずトークにも重点を置いたフェスティバル初めての試みです。忠明氏はかつて10年近くにわたり、英国BBCウェールズ交響楽団の首席指揮者として、地方オーケストラ的であったこの楽団を世界的レベルに引きあげた功績によりエリザベス女王より大英勲章CBEを授与され、現在は同楽団の桂冠指揮者ですが、札幌交響楽団や紀尾井シンフォニエッタ東京の常任のお仕事のみならず、ヨーロッパ一流オーケストラへの客演も積極的に続けておられます。お話し巧みで、5回目のフェスティバル登場である奥様のピアノを挟みながらのトークはどんな話題が出るのでしょうか。後半では皆様からのご質問もとりあげてお話いただき、奥様との連弾もご披露下さることになっています。

仲道郁代 ピアノ・リサイタル

- 曲目 ●ベートーヴェン……ピアノ・ソナタ 第24番 嬰へ長調 作品78「テレゼ」
- ベートーヴェン……ピアノ・ソナタ 第25番 ト長調 作品79
- ベートーヴェン……ピアノ・ソナタ 第26番 変ホ長調 作品81a「告別」
- ベートーヴェン……ピアノ・ソナタ 第27番 ホ短調 作品90
- ベートーヴェン……アンダンテ・ファヴォリ ヘ短調 Wo0.57
- ベートーヴェン……ピアノ・ソナタ 第21番 ハ長調 作品53「ヴァルトシュタイン」

好評の連続演奏は前回から後半部に入り、今回は作曲者39歳~44歳の作である第24番から27番まで。初めの2曲は馴染みの薄い方も多いかと思われそうですが、何れも短い作品ながら前者は情愛の深さや多感さに特色があり、後者は幸福極まりないような簡素さと表情が評価されている佳曲です。「告別」は標題の存在にも拘らず、描写的でない深い精神性を持つ名曲であり、第27番も後期の厳しい作品を前にしてのメロディに満ちあふれ、同時に瞑想性にも不足しない名曲と言えましょう。今回はこれまでよりも全体的に少ない分量を気にされた仲道さんが曲の追加を提案され、小品「アンダンテ・ファヴォリ」とそれに密接な関連のある「ヴァルトシュタイン」の再演という大きな「おまけ」がついています。

伊原直子 アルト・リサイタル

- 曲目 ●シューベルト……春の信仰 D.686/鱒 D.550/ミニョンの歌 D.877-3/笑いと涙 D.777/ガニューメート D.544
- シューマン……間奏曲 作品39-2/君は花の如く 作品25-24/献呈 作品25-1
- ブラームス……サッフォー風の頌歌 作品94-4/君が青き目 作品59-8/甲斐なきセレナード 作品84-4/調べの如く 作品105-1/我がまどろみはいよいよ浅く 作品105-2/永遠の愛 作品43-1
- R.シュトラウス……万霊節 作品10-8/献呈 作品10-1

96年春以来久々の4回目の登場。今回はドイツ・リート(連歌)の歴史のようなものをと注文しましたら、ご覧のような魅力的なプログラムを組んで下さいました。何度も演じておられる「カルメン」のようなオペラでの素晴らしさは申すまでもないことながら、マーラーのスペシャリストとの定評の通り、その吸い込まれるような深味のある声によるドイツ・リートは絶品であり、震災の前年でしたかイシハラホールで拝聴したリートの感動は今も深く胸に残っています。プログラムは何れ劣らぬ名曲、佳曲の目白押し。シューベルトに始まり、R・シュトラウスで結ぶドイツ・ロマンの精髓はリートファンにはこたえられぬご馳走と言えましょう。ピアノの森島さんはフェスティバル初登場ですが、多くの名歌手が厚い信頼を寄せておられる名手です。